

SONY

4-747-610-01(1)



4747610010

レンズ交換式デジタルカメラ

α6400

Eマウント

スタートガイド



ヘルプガイド (Web取扱説明書)  
http://rd1.sony.net/help/ilc/1810/ja/

ILCE-6400

## 本機のマニュアルについて

このスタートガイドは、本機をはじめてお使いになるときに必要な準備、基本的な使用かたなどを説明しています。詳しい使いかたは、ヘルプガイド (Web取扱説明書) をご覧ください。



ヘルプガイド (Web取扱説明書)  
http://rd1.sony.net/help/ilc/1810/ja/

ILCE-6400 ヘルプガイド



## 撮影のコツなど役立つ情報を調べる

便利な機能・使いかたや設定例などを紹介しているWebサイトです。カメラを設定するときの参考にしてください。



チュートリアル  
https://www.sony.net/tutorial/ilc/

**警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

本書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。本書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

## 警告 安全のために

→ 裏面もあわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる感電や傷害など人への危害、また火災などの財産への損害を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

### 「安全のために」の注意事項を守る

#### 定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、電源コードに傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

#### 故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐに相談窓口へご相談ください。

#### 万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら  
煙が出たら

- 電源を切る
- 電池をはずす
- 相談窓口に連絡する

裏面に相談窓口の連絡先があります。

### 危険 万一、電池の液漏れが起きたら

- すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。
- 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で十分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。
- 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。
- 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

### 注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

#### 注意を促す記号



#### 行為を禁止する記号



#### 行為を指示する記号



#### 電池について

安全のための文中の「電池」とは、「バッテリーパック」も含まれます。

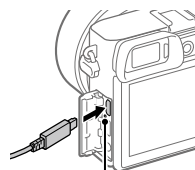
## バッテリーを充電する

### 1 カメラの電源を切る。

カメラの電源を入れた状態では、充電はおこなわれません。

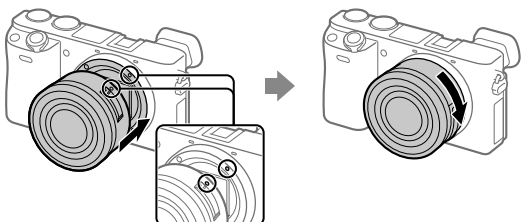
### 2 バッテリーを入れたカメラとACアダプター (付属) をマイクロUSBケーブル (付属) でつなぎ、ACアダプターをコンセントに差し込む。

充電が始まると、カメラの充電ランプが点灯します。充電ランプが消灯したら、充電完了です。



充電ランプ

## レンズを取り付ける



マウント標点

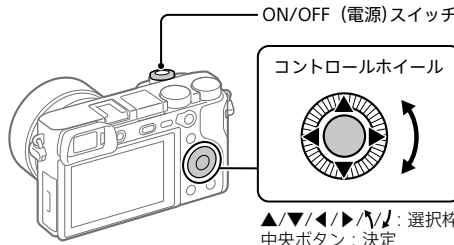
### 1 カメラのボディキャップとレンズの後ろのレンズリヤキャップをはずす。

### 2 レンズとカメラの2つの白色の点 (マウント標点) を合わせてはめ込む。

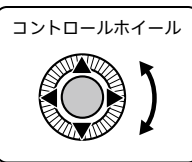
### 3 レンズを軽くカメラに押し付けながら、「カチッ」と音がするまで矢印の方向にゆっくり回す。

- レンズの取り付け/取りはずしを行う際は、ほこりの少ない場所ですばやく行ってください。
- ゴミやほこりが入らないよう、マウントを downward にして取り付けてください。
- レンズを取り付けるときは、レンズ取りはずしボタンを押さないでください。
- ズームやピント合わせなどで繰り出たレンズ部分を持って、カメラを保持しないでください。

## 電源を入れて日付と時刻を設定する



ON/OFF (電源) スイッチ



▲/▼/◀/▶/▼/▲: 選択枠の移動  
中央ボタン: 決定

### 1 ON/OFF (電源) スイッチを「ON」にして、カメラの電源を入れる。

### 2 モニターの表示で [実行] が選ばれていることを確認し、コントロールホイールの中央を押す。

### 3 [東京/ソウル] が選ばれていることを確認し、中央を押す。

### 4 [サマータイム]、[日時]、[表示形式] を設定し、[実行] を選んで中央を押す。

日時設定を完了したあとに日時やエリアを合わせ直したい場合は、MENU → (セットアップ) → [日時設定] または [エリア設定] で設定してください。

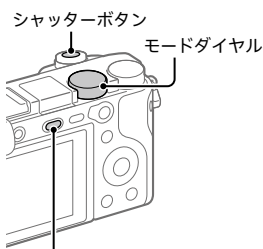
## 撮影する

### 静止画を撮影する

#### 1 モードダイヤルを回して、好みの撮影モードを選ぶ。

#### 2 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる。

#### 3 シャッターボタンを深く押し込む。

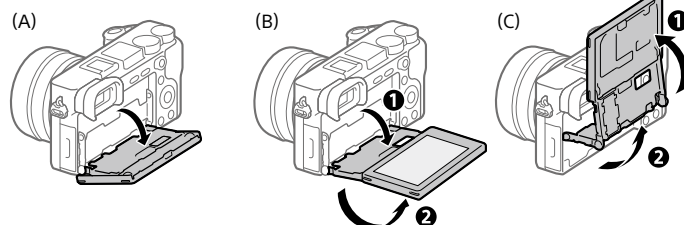


シャッターボタン  
モードダイヤル  
4 (フラッシュポップアップ) ボタン

### モニターの角度を調整する

モニターを見やすい角度に調整して、自由なポジションで撮影できます。

- ハイポジション (カメラを高い位置に構えるとき)
- ローポジション (カメラを低い位置に構えるとき)
- 自分撮りポジション (モニターを自分に向けて自分撮りを行うとき)



### フラッシュを使う

4 (フラッシュポップアップ) ボタンを押して、フラッシュ発光部を上げます。

フラッシュ使用後は、フラッシュを指で押し下げ、フラッシュ部の浮きがないよう元の位置に戻してください。

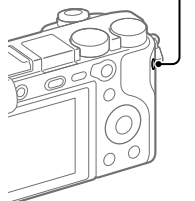
## 動画を撮影する

### 1 MOVIE (動画) ボタンを押して撮影を開始する。

お買い上げ時の設定では、すべての撮影モードから動画撮影を開始できます。

### 2 もう一度MOVIEボタンを押して終了する。

MOVIE (動画) ボタン

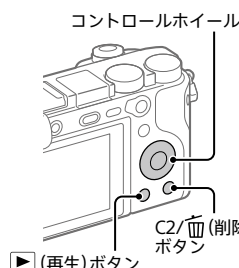


## 再生する

### 1 (再生) ボタンを押して、再生モードにする。

### 2 コントロールホイールで画像を選ぶ。

コントロールホイールの左/右で、前の画像/次の画像に移動します。動画を再生するには、コントロールホイールの中央を押してください。



▶ (再生) ボタン

### 表示中の画像を削除する

削除したい画像を表示した状態で (削除) ボタンを押し、コントロールホイールで [削除] を選びます。

一度削除した画像は、元に戻せません。削除してよいか、事前に確認してください。

## スマートフォンに画像を転送する

カメラとスマートフォンをWi-Fiで接続することで、スマートフォンに画像を転送することができます。

### 1 : スマートフォンにPlayMemories Mobileをインストールする。

カメラとスマートフォンを接続するには、PlayMemories Mobileが必要です。あらかじめ、スマートフォンにPlayMemories Mobileをインストールしてください。すでにインストール済みの場合は、最新版にアップデートしてください。



https://www.sony.net/pmm/

### 2 (初回のみ) QRコードを使ってカメラとスマートフォンを接続する。

#### ① : MENU → (ネットワーク) → [スマートフォン転送機能] → [スマートフォン転送] → [カメラから選ぶ] → 転送する画像を選ぶ。

スマートフォンの画面で画像を選択したい場合は、[スマートフォンから選ぶ] を選びます。

#### ② : スマートフォンでPlayMemories Mobileを起動し、[カメラのQRコード読み取り] を選ぶ。

#### ③ : スマートフォンでカメラに表示されたQRコードを読み取る。



以下の手順はiPhone/iPadをお使いの場合のみ行ってください。

#### ④ iPhone/iPadの画面の指示に従ってプロファイルのインストールを完了する。

#### ⑤ iPhone/iPadのホーム画面 → [設定] → [Wi-Fi] を選択する。

#### ⑥ カメラに表示されたSSIDを選択する。

2回目以降の接続時は、SSIDを選ぶだけでカメラとスマートフォンが接続されます。

### 3 画像の転送が開始される。

## (2回目以降)スマートフォンに画像を転送する

### 1 : 「スマートフォンに画像を転送する」の手順2-①を行う。

### 2 : スマートフォンでPlayMemories Mobileを起動する。

画像の転送が開始されます。

以下の手順は、iPhone/iPadをお使いの場合のみ行ってください。

### 3 iPhone/iPadのホーム画面 → [設定] → [Wi-Fi] を選択する。

### 4 カメラに表示されたSSIDを選択する。

スマートフォンとの接続について詳しくは、以下のサポートサイトをご覧ください。  
https://www.sony.net/dics/pmm1801/

- その他の接続方法やスマートフォンをリモコンにしてカメラを操作する方法について詳しくは、ヘルプガイドをご覧ください。
- 本書で説明しているWi-Fi機能について、すべてのスマートフォンまたはタブレットで動作を保証するものではありません。
- このカメラのWi-Fi機能は公衆無線LANに接続して使用することはできません。



# パソコンで写真を管理・編集する

マイクロUSBケーブルを使ってカメラとパソコンを接続したり、カメラのメモリーカードをパソコンに入れることで、撮影した画像をパソコンに取り込むことができます。また、以下のパソコン用ソフトウェアを使うことで撮影した写真や動画をより楽しむことができます。

#### PlayMemories Home

撮影した静止画、動画を、パソコンに取り込んで閲覧や活用ができます。XAVC S動画やAVCHD動画をパソコンに取り込む場合は、PlayMemories Homeが必要です。

#### Imaging Edge

Imaging Edgeは、パソコンからカメラを操作するリモート撮影や、カメラで撮影したRAW画像の調整・現像などの機能を含む、ソフトウェアシリーズです。

パソコン用ソフトウェアについて詳しくは、以下のURLをご覧ください。
https://www.sony.net/disoft/

# 本機について／使用上のご注意

|                                 |
|---------------------------------|
| <p><b>お使いになる前に必ずお読みください</b></p> |
|---------------------------------|

ヘルプガイドの「**使用上のご注意**」もあわせてお読みください。

#### 表示言語について

本機では、日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

#### 本機の取り扱いについてのご注意

- 本機は防じん・防滴に配慮した構造となっておりますが、ほこりや水滴の浸入を完全に防ぐものではありません。
- フラッシュの表面の汚れは取り除いてください。フラッシュ表面の汚れが発光による熱で発煙したり、焦げる場合があります。汚れ・ゴミがある場合は柔らかい布などで清掃してください。
- レンズやファインダーを絶対に太陽や強い光源に向けたままにしないでください。レンズの集光作用により、発煙、火災、ボディやレンズ内部の故障の原因になります。やむを得ず太陽光などの光源下におく場合は、レンズキャップを取り付けてください。
- 逆光での撮影時は、太陽を画角から充分にずらしてください。太陽光がカメラ内部で焦点を結び、発煙や火災の原因となることがあります。また、太陽を画角からわずかに外しても発煙や火災の原因となることがあります。
- レンズに向けてレーザーなどの光線を直接照射しないでください。イメージセンサーが破損し、カメラが故障することがあります。
- 取りはずしたレンズを通して、太陽や強い光を見ないでください。目に回復不可能ほどの障害をきたすおそれがあります。
- 本機や付属品などは乳幼児の手の届く場所に置かないでください。付属品やメモリーカードなどを飲みこむ恐れがあります。万一致みこんだ場合は、直ちに医師に相談してください。

#### モニターおよびファインダーについてのご注意

- モニターやファインダーは、有効画素99.99%以上の非常に高精度の高い技術で作られています が、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。
- ファインダーを使用中、目の疲労、疲れ、気分が悪くなる・乗り物酔い似た症状が出る可能性があります。ファインダーを使用するときは、定期的に休憩をとることをおすすめします。
- 万一モニターやファインダーが破損した場合は直ちに使用を中止してください。破損した箇所で手や顔等を切る等の怪我をする恐れがあります。

#### 連続撮影時のご注意

連続撮影時、モニターまたはファインダーに撮影画面と黒い画面がすばやく交互に表示されることがあります。このとき、モニターやファインダーを見続けることにより、体調不良などの不快な症状が出る可能性があります。不快な症状が出たときは、本機の使用を控え、必要に応じて医師にご相談ください。

#### 長時間撮影および4K動画撮影についてのご注意

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために自動的に電源が切れたり、動画撮影ができなくなる場合があります。電源が切れる前や撮影ができなくなった場合は、モニターにメッセージが表示されます。このような場合、本機やバッテリーの温度が充分下がるまで電源を切ったままお待ちください。十分に温度が下がらない状態で電源を入れると、再び電源が切れたり動画撮影ができなくなる場合があります。
- ご使用中に本体およびバッテリーが温かくなりますが故障ではありません。
- 使用中に本機が熱いと感じなくても皮膚の同じ場所が長時間触れたままの状態であると、赤くったり水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となる場合があります。以下の場合は特にご注意ください。
  - だき、三脚などをご利用ください。
  - 気温の高い環境でご使用になる場合
  - 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合
  - [自動電源OFF温度]を[高]に設定してご使用になる場合

#### 撮影・再生に際してのご注意

- 必ず事前のために撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。
- 本機で撮影した画像や動画の他機での再生、他機で撮影/修正した画像や動画の本機での再生は保証いたしません。あらかじめご了承ください。
- 万ー、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、また、記録内容が破損・消滅した場合、画像や音声など記録内容の補償については、ご容赦ください。大切な記録内容はバックアップを取っておくことをおすすめします。
- フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。

#### ソニー製純正レンズ/アクセサリをお使いください

本機を他社製品と組み合わせて使用した際の性能や、それによって生じた事故、故障につきましては保証いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

#### 著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむものの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

#### 位置情報についてのご注意

位置情報を付加した画像をインターネットに公開、共有すると、意図せずに撮影場所が第三者に知られる場合があります。その場合は、□[位置情報運動設定]を[切]にして撮影してください。

#### 本機の廃棄/譲渡についてのご注意

個人情報保護のため、本機を廃棄・譲渡するときには以下の操作を行ってください。

- [設定リセット] → [初期化]

#### メモリーカードを廃棄/譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、メモリーカード内のデータは完全に消去されないことがあります。メモリーカードを譲渡するときは、パソコンのデータ消去専用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また、メモリーカードを廃棄するときは、メモリーカード本体を物理的に破壊することをおすすめします。

#### ワイヤレスLANに関するご注意

紛失や盗難などによって本機に搭載されている接続先への不正アクセスや利用などが行われ、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。

#### ワイヤレスLAN 製品ご使用時におけるセキュリティについて

- ハッキングや悪意ある第三者からのアクセス、その他の脆弱性を回避するため、常にセキュアなワイヤレスLANを使用していることを確認してください。
- ワイヤレスLAN ではセキュリティの設定をすることが非常に重要です。
- セキュリティ対策を施さず、あるいはワイヤレスLAN の使用上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

#### 無線に関連する機能(Wi-Fiモード)を一時的に無効にする

無線に関する機能は、「飛行機モード」で一時的に無効にできます。

#### ワイヤレスLAN機能の使用地域について

本機のWi-Fi機能は日本での利用を前提としています。海外での使用はその国、または地域の電波関連規制等に違反する恐れがあり、当社では一切の責任を負いかねます。


|  |
|--|
| <p><b>この機器のネットワークモードでの使用時の注意事項</b></p> <p>本製品の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局(免許を要する無線局)等(以下「<b>他の無線局</b>」)が運用されています。</p> <p>1.本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。</p> <p>2.万一、本製品と「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の放射を停止してください。</p> <p>3.その他、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の実例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、相談窓口へお問い合わせください。相談窓口については、本書をご覧ください。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px solid black; padding: 2px;"> <span>2.4X8</span> <span>2.4DS2/OF2</span> </div> <p>2.4：2400MHz帯を利用する無線設備を表します。DS/OF/XX：変調方式がDS-SS/OFDM/その他の方式、であることを示します。</p> <p>2：想定される与干渉距離が20m以下であることを示します。</p> <p>8：想定される与干渉距離が80m以下であることを示します。</p> <p><span style="background-color: black; color: white; padding: 2px;">—————</span>：2400MHz～2483.5MHzの全体域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを示します。</p> <p><span style="background-color: black; color: white; padding: 2px;">—————</span>：2400MHz～2483.5MHzの全体域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを示します。</p> |
|--|

#### ACアダプター /チャージャーについて

ACアダプター /チャージャーは、お手近なコンセントをお使いください。不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。充電ランプがある機種は、ランプが消えても電源からは遮断されません。

#### 認証マークの表示について

本機が対応している認証マークの一部は、本機の画面上で確認することができます。

MENU →  (セレクトアップ) → [認証マーク表示] を選択してください。

本機の故障などの問題により表示できない場合は、相談窓口にご相談ください。

## 保証書とアフターサービス

### 必ずお読みください

#### 記録内容の補償はできません

万一、カメラやメモリーカードなどの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

#### 保証書は国内に限られています

このカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

#### 保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

### アフターサービス

#### 調子が悪いときはまずチェックを

ヘルプガイドなどを参考にして故障かどうかお調べください。それでも具合が悪いときは相談窓口にご相談ください。

#### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

#### 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご予要により有料修理させていただきます。

#### 部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

#### 部品の保有期間について

当社はカメラの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後7年間保有しています。ただし、故障の状況、その他の事情により、修理に代えて製品を交換する場合がありますので、ご了承ください。

### 主な仕様

#### 本体

Model No. WW715296
定格：7.2 V⎓、2.4 W
動作温度：0～40℃
保存温度：－20～55℃
外形寸法(幅×高さ×奥行)(約)：120×66.9×59.7 mm
120×66.9×49.9 mm
(グリップからモニターまで)

質量：約403 g
(バッテリー、SDカードを含む)

カメラや付属品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

### 安全のために

## 商標について

- XAVC Sおよび **XAVC S** はソニー株式会社の登録商標です。
- AVCHDおよびAVCHDロゴは、パナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- iPhoneは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。「iPhone」の商標は、アイホン株式会社からライセンスを受け使用しています。
- Android、Google PlayはGoogle LLCの登録商標または商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fiロク、Wi-Fi Protected SetupはWi-Fi Allianceの登録商標または商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していない場合があります。

|                      |                          |
|----------------------|--------------------------|
| <p><b>安全のために</b></p> | → <b>表面もあわせてお読みください。</b> |
|----------------------|--------------------------|

#### 分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理は相談窓口にご依頼ください。

**内部に水や異物(金属類や燃えやすい物など)を入れない**
火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、相談窓口にご相談ください。

#### 運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、モニターを見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。

#### 撮影時は周囲の状況に注意を払う

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

#### 指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

火災やけがの原因となることがあります。

#### 機器本体や付属品、メモリーカードは、乳幼児の手の届く場所に置かない

電池などの付属品や、メモリーカードなどを飲み込むおそれがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

#### 電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。

#### 可燃性/爆発性ガスのある場所でフラッシュを使用しない

**フラッシュ、AF補助光などの撮影補助光を至近距離で人に向けてない**

- 至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上はなれてください。
- 運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因となります。

#### カメラのファインダーやレンズを通して、太陽や強い光を見ない

- 視力障害や失明の原因となります。
- 長時間、同じ持ち方で使用しない**
- 使用中に本機が熱いと感じなくても皮膚の同じ場所が長時間触れたままの状態であると、赤くったり水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となる場合があります。以下の場合は特にご注意ください。
  - 気温の高い環境でご使用になる場合。
  - 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合。

#### ぬれた手で使用しない

感電の原因となることがあります。

### フラッシュの発光部を手でさわらない

フラッシュ発光部を指・手袋などで覆ったまま発光しない。また、発光後もしばらくは発光部に手を触れないでください。やけど、発煙、故障の原因となります。

### ワイヤレス機能ご使用上のご注意

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない



電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

#### 航空機内ではワイヤレス機能を使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

**本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能の使用を中止する**

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

|                  |  |  |
|------------------|--|--|
| <p><b>注意</b></p> | <p> </p> | <p>下記の注意事項を守らないと、<b>けがや財産に損害</b>を与えることがあります。</p> |
|------------------|--|--|

**水滴のかかる場所など湿度の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない**
火災や感電の原因になることがあります。

#### 不安定な場所に置かない

くらついたり台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

#### コード類は正しく配置する

電源コードやパソコン接続ケーブル、A/V接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

**通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中の電池や製品に長時間ふれない**

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

#### 使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。

#### 長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントからはずしたり、電池を本体からはずして保管してください。火災の原因となることがあります。

#### フラッシュ発光部を正常な位置に上げない状態で使用しない

指定外のアクセサリーを装着した場合や、撮影時のスタイル等で、フラッシュ発光部が上がりきらない状態で発光させると、火災の原因となることがあります。

#### レンズやモニターに衝撃を与えない


レンズやモニターはガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。万一致破した場合は直ちに使用を中止してください。破損した箇所で手や顔等を切る等の怪我をする恐れがあります。

**電池や付属品、メモリーカード、アクセサリなどを取りはずすときは、手をそえる**

電池やメモリーカードなどが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。

#### 直射日光の当たる場所に放置しない

太陽光が近くの物に結像すると、火災の原因になります。やむを得ず直射日光下に置く場合は、レンズキャップを付けてください。

|  |  |
|--|--|
| <p><b>危険</b> 電池についての安全上のご注意とお願い</p>  | <p>漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による<b>大けが</b>や<b>やけど</b>、<b>火災</b>などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。</p>   |
| <p><b>危険</b></p>   | <ul style="list-style-type: none"><li>乾電池型充電式電池・バッテリーパックは指定されたバッテリーチャージャー以外で充電しない。</li> <li>電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオープンで加熱しない。</li> <li>電池を火のそばや炎下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。</li> <li>電池をコインやヘアークレインなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。</li> <li>電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体でぬらさない。ぬれた電池を充電したり、使用したりしない。</li></ul> |
| <p><b>警告</b></p>   | <ul style="list-style-type: none"><li>電池をハンマーなどでたたいたり、踏みついたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。</li> <li>バッテリーパックが変形・破損した場合は使用しない。</li> <li>アルカリ電池/ニッケルマンガン電池は充電しない。</li> <li>外装シールをはがしたり、傷ついたりしない。外装シールの一部または、すべてをはがしてある電池や破れのある電池は絶対に使用しない。</li></ul>   |
| <p><b>注意</b></p>   | <ul style="list-style-type: none"><li>電池は、＋－を確かめ、正しく入れる。</li> <li>電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取り出しておく。</li></ul>  |
| <p> <b>Li-ion</b></p> | <p>リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。</p> <p>充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については一般社団法人BRCホームページ <a href="http://www.jbrc.com/">http://www.jbrc.com/</a>を参照してください。</p>   |

### 最新のサポート情報を確認する

#### 『α』専用サポートサイト

製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法、使用可能なメモリーカード、アクセサリー互換情報に加えて、撮影方法など写真をもっと楽しみたいときに役立つ情報を掲載しています。

**https://www.sony.jp/support/ichigan/**

#### ソフトウェアのサポート情報

PlayMemoriesシリーズなどのソフトウェア・アプリケーションに関する情報を掲載しています。

**https://www.sony.jp/support/r/disoft/**

#### アクセサリー対応情報

本機に対応したレンズやアクセサリーなどを掲載しています。

**https://www.sony.jp/support/r/ichigan/connect/**

**最新のサポート情報を確認する**

**『α』専用サポートサイト**

**ソフトウェアのサポート情報**

**アクセサリー対応情報**

**最新のサポート情報を確認する**

**『α』専用サポートサイト**

**ソフトウェアのサポート情報**

**アクセサリー対応情報**

**最新のサポート情報を確認する**

|  |   |
|--|---|
| <p>よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。</p>   | <p><b>https://www.sony.jp/support/</b></p>                                |
| <p><b>使い方相談窓口</b></p>  | <p>左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に<b>「402」+「#」</b>を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。</p> |
| <p>フリーダイヤル……………<b>0120-333-020</b><br/> 携帯電話・PHS・一部のIP電話…<b>050-3754-9577</b></p>  |   |
| <p><b>修理相談窓口</b></p>   |   |
| <p>フリーダイヤル……………<b>0120-222-330</b><br/> 携帯電話・PHS・一部のIP電話…<b>050-3754-9599</b><br/> ※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。</p> |   |
| <p><b>FAX(共通) 0120-333-389</b></p>   |   |

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<https://www.sony.co.jp/>